



土屋 知紀
日本共産党
(72分)

7月豪雨災害への対応は

問 ①市内に砂防ダムは102基、治山ダムは669基ある。土砂災害を防ぐため、砂防ダムの定期的な土砂撤去のための計画策定を求める。
②市は、雨水が大量に流入した世帯のし尿処理の手数料を半額だけ減免しているが、生活保護

世帯等にとつては大きな負担である。全額免除の考えは。

答 ①市内の砂防ダムは施設管理者の県が維持管理ガイドラインに基づき管理している。
なお、今回の豪雨災害を受け、支障が生じると思われる箇所は速やかな堆積土砂の撤去を、県知事とのトップ会談で要望した。
②今回の災害においては、被災者の経済的負担の軽減を図るため、手数料の全額を補助する。



村井 明美
日本共産党
(73分)

治山治水予算の増額を

問 河川改修や治山の予算を削減し必要な対策が遅れている国や県に対し、治山・治水予算を抜本的に増やすよう求めよ。

答 治山・治水事業は総合的な土砂災害対策の推進や治水安全度の抜本的向上に資するものであり、これまでも毎年、国や県に対し予

算の確保を要望している。

教室へのエアコン設置を急げ

問 全小中学校へのエアコン設置をあらゆる方法を模索して急ぎ、統廃合対象の小中学校を含めた全ての校舎に設置することを求める。

答 可能な限り早期に着実に実施するため、直接施工方式とPFI方式を合わせた事業手法を選択した。学校再編対象校はPFI事業の対象ではないが、適切な学習環境となるよう対応する。



稲葉誠一郎
誠友会
(40分)

車のまちづくり事業の方針は

問 埋め立て架橋計画による新たな県道整備に合わせて取り組むとしていた車のまちづくりに関する事業の今後の方針は。
答 埋め立て架橋計画の取りやめを受け、市は新たなまちづくりの指針として本年3月に「車のまちづくりビジョン」を策定した。今

後はビジョンの5つの目標の実現に向け、住民と行政の協働により「交通・道路網の形成」も含めた課題の解決を図り、轄地区の再生活性化につなげる。轄町内会連絡協議会から山側トンネルの具体的な計画の早急な提示や高潮対策事業の着実な実施等11項目の要望書が県に提出され、県は山側トンネルの検討調査結果を早期に取りまとめ住民への説明の場を持つとしている。市としては地元意向を十分に踏まえたものとなるよう、県事業が着実に進捗するよう引き続き県と連携し、取り組む。



能宗 正洋
誠友会
(55分)

観光客の誘致は

問 観光客集客のPRは。

答 福山城は日本一新幹線ホームに近い天守という特色を十分に生かす必要がある。築城400年に向けてインスタ映えする樹木の整備、新幹線上りホーム上の福山城ビュースポットの整備等により幅広い世代へのPRにつなげる。

今後の避難所対応は

問 今後の避難所についての考えは。

答 避難場所を開設する際は避難所への移行も念頭におき、空調設備や和室など環境が整った施設を選定しているが、多数の避難者がでた場合、体育館を活用するため間仕切りユニットや毛布等を備蓄してきた。今回の豪雨対応から空調機材のさらなる充実が必要で応援物資を提供していただく協定事業者の拡大にも取り組む。